

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-422	
評価技術名称					連絡先	http://www.			
構造用合板補強工法					〒				
真壁「1間 横使い」裏棧あり 間柱なし					電話	Fax			
概要	技術概要								
	構造用合板を横向きで用いて、1間の壁面を裏棧あり間柱なしの真壁の仕様で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1間の間に柱がない真壁に有効。</li> <li>一般流通品なので取り扱いが容易。</li> </ul>						サンプル構面	35,388 円/kN	
設計見積り例						-			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚 12mm 以上 横使い								
	釘 N50、CN50 @100 以下								
	間柱なし、継手受材、四方受材あり								
耐震性能									
評価仕様: 真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
4.68kN/m		657kN/rad./m							
A-111 からの低減係数 $\alpha = 0.9$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.9 = 4.68$									
設計方法				<p><u>真壁 裏棧あり 間柱なし</u></p> <p>構造用合板厚 12mm 以上</p> <p>釘 N50、CN50 @100mm 以下</p> <p>四周打ち</p> <p>四方受材 30×40mm 以上</p> <p>釘 N75 @150mm 以下、 または N90 @200mm 以下</p> <p>継手受材 30×90mm</p> <p>釘 四方受材に対し 2-N75 斜め打ち</p>					
①柱接合部による低減 取付部分が健全であること									
②劣化による低減 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他									